

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 25 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	情報システムデザイン学系
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 8 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	TOEIC の勉強
準備で苦労したこと	服をどれくらい持っていくか、日用品が 3 週間分どれくらい必要かなど。
他に必要な準備等	ホームステイ先のお土産

研修に参加したきっかけ	
海外の文化に触れたいと思ったから。また、実際に現地で生活しながら英語を使うことで、コミュニケーション能力を向上したいと思ったため。	
参加前の目標	
英会話力の向上に加えて、リスニング力の強化。	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
ホストファミリーと積極的に会話をするよう努力した。その結果、最初は聞き取れないことが多かったが、次第にホストファミリーの話す英語が理解できるようになり、聞き返す回数が減って、スムーズに話せる場面が増えた。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☒ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☐ 有 ☒ 無 内容：
渡航後必要な手続き	
研修先の雰囲気	自然に囲まれている大きなキャンパス。

研修について	
先生や学生に関して	学生は、数人が外国人で、ほとんどは日本人だった。 先生は、明るい人で話しやすかった。
授業の難易度や充実度	授業の難易度は簡単だった。また、授業の半分は外で活動する授業が多かった。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	クラス分けは、web 上で実施されたテストの成績によって分けられました。クラスメートは、12 人で、サウジアラビア人が 1 人、中国人が 1 人、10 人が日本人だった。
大学の施設や周囲の環境などに関して	きれいな施設で過ごしやすい環境だった。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☒ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 60 分
部屋の種類／同居人	☒ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☐ 有（ 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☒ Host father

2024 年度 春季海外短期研修

	子供 ☐ 男の子 (人) ☒ 女の子 (2 人) ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他 ()
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他 ()
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他 ()
学生寮・ホームステイ先の印象	きれいな家で快適に過ごせた。また、これまでに多くの留学生を受け入れてきたようで、慣れていた。
住居について注意	水が貴重なのでシャワーの時間に注意が必要で、ホームステイ先によっては使用時間が決まっている場合がある。
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード (キャッシュパスポート等) ☐ その他 () アドバイス: クレジットカードでほとんど支払いました。
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☐ SIM カードを購入 ☐ その他 ()
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☒ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他 ()
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他 ()
医療関係の注意事項	

費用について (研修費用以外)			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食	約 210 ドル	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品		0 ドル	☐ 現金 ☐ クレジットカード
観光費用	ショッピング、コアラ園等	約 200 ドル	☒ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代		約 200 ドル	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	バスと電車	約 30 ドル	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額 (概算) ※日本円で記入		64000 円	

現地での学習面について

授業は 1 日 2 コマあり、1 コマは教室で行われ、もう 1 コマはキャンパス内を歩き回ったり、クラスメートと協力して何かを探したりするアクティビティが多かった。そのおかげで、毎回楽しく授業を受けることができた。

現地での生活面等について

授業は、13 時に終わるため、午後は自由に行動することができる。私は、町に出て観光することが多かった。また、町にある図書館で定期的に「イングリッシュコミュニケーション」という交流イベントが開催されており、そこで英語で会話を楽しむことができる。

物価は高いため、水を買う際は、スーパーを利用すると安く手に入る。

研修を通して得たもの

3 週間で英語を流暢に話せるようにはならなかったが、毎日ホストファミリーとの会話を通じて英語を聞く機会が増えたことで、リスニング力は向上した。

今後の学習計画について

留学で得た経験を生かして TOEIC の勉強に励む。また、コミュニケーション力に課題を感じたため、英会話のスキル向上にも力を入れる。

研修参加を検討している学生へメッセージ

海外に興味がある人にとって、とても貴重な経験になるのでおすすめです。3 週間はあっという間なので、少しでも行きたい気持ちがあるなら挑戦してみるべきだと思います。ホストファミリーとの生活に不安を感じていても、過ごしていくうちに自然と慣れていくので心配はいりません。短期間でも多くのことを学び、成長できる機会なので、迷っているならぜひ挑戦してみてください。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 4 月 13 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	建築学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 8 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	英単語アプリ リスニング
準備で苦労したこと	荷物準備 洋服の量
他に必要な準備等	SIM カード

研修に参加したきっかけ	
英語力向上させたいと思ったため。	
参加前の目標	
積極的に会話をする。	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
事前に話す内容を考えておく。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☒ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：危機管理、英会話
渡航後必要な手続き	GO カードの作成 SIM の設定
研修先の雰囲気	日本人の学生が多い。 フレンドリーな先生が多い。

研修について	
先生や学生に関して	13 人ほどのクラス。クラスの大半の生徒が日本人。 先生はオーストラリア人。
授業の難易度や充実度	事前の zoom でのテストによってクラス分けがされていたので、自分に合った難易度のクラスだった。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	日本の他大学からの学生と話す機会が多いため仲良くなる。
大学の施設や周囲の環境などに関して	敷地が広くきれいな大学で過ごしやすい環境。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）： ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☐ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 30分
部屋の種類／同居人	☒ 1人部屋 ☐ 2人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（1人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☐ 男の子（人） ☒ 女の子（1人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 犬 ☐ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	きれいな家でプライベートが保たれた環境だった。
住居について注意	シャワールの時間が決まっている。 洗濯は週に1回程度。
生活費等支払い手段	☐ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☐ SIMカードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☒ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☐ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食費	80000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	石鹸	2000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	動物園・カジノ・モトノ島など	50000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代		20000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	登下校・観光	10000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		162000	

現地での学習面について
授業はコミュニケーション中心。 課題はあまり多くなかった。

現地での生活面等について
交通手段は基本的にバス。 タクシーを使い場合は Uber が便利。

研修を通して得たもの
うまく伝えられなくても、言葉にしていすることで少しずつコミュニケーションが取れるようになる。 日本での生活の違いや価値観の違いを実際に肌で感じる事ができた。

今後の学習計画について

英語力向上させるため、アプリを使い特にリスニング力のアップと語彙を増やせるようにする。

研修参加を検討している学生へメッセージ

英語が苦手でも、伝えようと努力することでコミュニケーションは取れるので、英語が得意でなくても気負わず研修参加してみても良いと思う。
今回は、サイクロンがきたため飛行機が飛ばず 3 日間の延泊となり、停電もしたため、トラブルによりスムーズに帰れないこともある。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 20 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	建築学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 8 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	二週間前程から英会話アプリを始めた。
準備で苦労したこと	パッキング。20 kg に収めることが苦労した。
他に必要な準備等	パスポートの申請。 ETA の申請。

研修に参加したきっかけ	
昔から留学に興味があり、二年生の後期が一番行きやすく最後のチャンスだと思ったから。また、海外に行ったことがなく、海外に行ってみたかった。	
参加前の目標	
積極的に話す。 海外の友達を作る。	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
最初は聞き取れないし話せないしで積極的に話すことが難しかったが、集中して聞くとだんだんと聞き取れるようになった。そのため、自分から質問したり、わからないことを聞いたりすることが出来るようになった。クラスに二人しか外国人がいなく、友達を作ることは難しかったが、インスタを交換することが出来た。また、他の大学の日本人とも仲良くなれた。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：説明会、クラス分けテスト
渡航後必要な手続き	Go カードを買ってチャージする。
研修先の雰囲気	とても過ごしやすい気候だった

研修について	
先生や学生に関して	ほぼ日本人で、日本人特有の発言しない雰囲気があり、時々先生が怒っていた。普段はとっても優しかった。実際に授業を担当した先生は三人だったが、ほとんど一人の先生。
授業の難易度や充実度	先生もとても聞き取りやすいようにゆっくりしゃべってくれたため、先生が言っていることはほぼ聞き取れた。しかし、1 授業 2 時間のため、とても疲れる。内容は中一の授業を英語でやっているような感じ。 実際にコーヒーを買いに行く授業など、外での授業も多く、楽しかった。 最後の週はサイクロンの影響でオンラインになってしまったことが残念だった。正直オンライン授業は楽しくなかった。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	10 クラス中 1～5 クラスくらいまではほとんど日本人。 私のクラスも二人しか外国人がいなかった。ほかの大学からの日本人とは仲良くなれた。
大学の施設や周囲の環境などに関して	大学はとても綺麗だった。敷地内にスーパーやカフェなどがあつた。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☒ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 40分
部屋の種類／同居人	☒ 1人部屋 ☐ 2人部屋 ☒ その他（最後の週は2人部屋） 同居人： ☐ 有（人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☐ 男の子（人） ☒ 女の子（1人）、host motherの友達も住んでました。 ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☒ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	人はとてもいい人だったが、衛生的に汚く、問題だということがいくつもあり、それがつらかった。
住居について注意	オーストラリアの人は寝る時間がとても早いので、夜は静かにする。
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☐ クレジットカード ☐ デビットカード ☒ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：実際に来てみたらカードが使えないという人が周りに二人もいたので、海外でも使えるか確認すること。
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☐ SIMカードを購入 ☒ その他（esim）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☒ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食、スーパーでの買い物	65,000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	虫よけスプレー、日焼け止め、家で履くサンダル	9,000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	モートン島、ローンパインなど	30,000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代		60,000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	タクシー、バス	14,000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		約 20 万	

現地での学習面について
毎日日記のような簡単な課題が出ていたので、それだけやっていた。

現地での生活面等について
私たちの家では朝ご飯は自分で用意するというルールで、家にあるものは何でも食べて良いと言われていたが、シリアルなどが口に合わず苦手だったため、スーパーで果物を買って食べていた。その分のお金がほかの人にはなかったかもしれない。 バス代が一回 50 円だったのがとてもよかった。 最後の週にサイクロンが来て、家が停電してしまったため、常にモバイルバッテリーの充電をためておくと思った。

研修を通して得たもの
文化の違いの体験 自分で何とかする力 リスニング力

今後の学習計画について

英会話アプリや、海外の映画を見たり、英会話カフェに行ってみたいと思っている。

研修参加を検討している学生へメッセージ

お金の問題もありますが、奨学金もあるため、少しでも行きたいと思っているなら行くべきだと思う。留学は社会人になると難しいと思うし、院に行くことを考えていない人は、3, 4 年生では就活などあり忙しくなるため、1, 2 年生で行くことをおすすめする。私も英語が全くできない状態で行ったが、同じホームステイの人に聞いたり、友達と協力しながら生活することが出来た。とても楽しかったので、この先の人生の中でも心に残る思い出になった。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 18 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	ロボット・メカトロニクス学科
研修期間	2024 年 2 月 14 日 ～ 2024 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	単語帳 YouTube でフレーズの練習
準備で苦労したこと	特になし
他に必要な準備等	

研修に参加したきっかけ	
海外に身を置き、異文化を体験するとともに英語力を高めたかったから	
参加前の目標	
とにかく英語で話す 海外の友達を作る TOEIC スコア 700 取る	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
授業内で発言するようにした。 リスニング力が伸びた。 英語で話すことへの抵抗が少なくなった。 海外の友人ができた。 (TOEIC スコアは未受験のため不明)	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☐ ホストファミリー ☒ その他 () 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他 ()
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：危機管理、英会話、生活について
渡航後必要な手続き	オーストラリア eta
研修先の雰囲気	過ごしやすかった。

研修について	
先生や学生に関して	火曜日と木曜日は違う先生 個性的で優しく面白い 生徒が発言することで授業が進む構成
授業の難易度や充実度	テキストの内容や文法は今までに習ったことのあるもので簡単だった。 英語で話し続けるのが難しかった。 同じテーブルの学生と英語で話す、教室を出てキャンパス内にいる人に質問する、カフェで注文する、読んだ本のプレゼンをするなどスピーキングがメイン
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	自分のクラスでは約 8 割日本人だった。(他大 7 割ぐらい) 授業内で学生同士コミュニケーションを取る機会が多く、すぐに仲良くなれた。
大学の施設や周囲の環境などに関して	大学内のカフェやレストランをよく利用していた。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 40 分
部屋の種類／同居人	☒ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☐ 有（ ）人 ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☒ 男の子（1 人） ☒ 女の子（2 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 犬 ☐ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☒ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
ホームステイ先の印象	アクティブな家庭でゴールドコーストや動物園などいろいろな場所に連れて行ってくれた。 子供がとにかく元気。
住居について注意	
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：現金を使うシーンはほとんど無かった。
携帯電話	☐ 購入した ☐ 購入しなかった ☐ SIM カードを購入 ☒ その他（eSIM を購入 ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費			☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品			☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用			☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代			☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費			☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		100000 円	

現地での学習面について
大学で授業を受け、毎日の課題を行う。 配られた洋書を読む。 会話の中で知ったことはメモし、使ってみる。

現地での生活面等について
授業は 13 時までなので、自由時間が多く計画次第で様々な場所に行ける。 授業後は電大生だけでなく海外からの学生や他大生と過ごした。 日焼け止めは必須

研修を通して得たもの
研修を通して積極的に行動する姿勢が身についた。 もっと会話したいという気持ちが強まり、自発的に英語を学ぼうと思うようになった。 また、自分の英語レベルでもコミュニケーションが取れたことで少し自信がついた。一方で、自分の表現力の乏しさも痛感し、それが今後の英語学習へのモチベーションにつながった。さらに、帰国後も連絡を取り合える海外の友人を得ることができた。

今後の学習計画について
Toeic700 点を取る 毎日英語に触れる
研修参加を検討している学生へメッセージ
少しでも興味があるならぜひ挑戦してみてください。 語学力の向上だけでなく、新しい環境に適応する力や、挑戦する勇気を養う貴重な経験になると思います。もし留学を迷っているなら、ぜひ一歩踏み出してみてください。 きっと、自分自身の成長につながるはずです。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 12 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	情報システムデザイン
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	QUT
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	特になし
準備で苦労したこと	特になし
他に必要な準備等	特になし

研修に参加したきっかけ	
英語能力の向上 観光	
参加前の目標	
英語能力の向上 観光	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
現地の人に話しかけた（バス停の位置を聞いたなど） ゴールドコーストなどの観光地に行った	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：それがオリエンテーションだったかはわからないが、軽く学校を案内された
渡航後必要な手続き	特になし
研修先の雰囲気	レベル別ですごい授業の内容のレベルに差があった 上のクラスの人々のレベルが高かった 下のクラスはゆるそうだった

研修について	
先生や学生に関して	優しかった
授業の難易度や充実度	レベル別で分けられた 上のクラスは難易度が高く、下のクラスは難易度が低そうだった
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	中国人の留学生と仲良くなった
大学の施設や周囲の環境などに関して	大学の立地がシティに近くてよかった

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☐ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 50 分
部屋の種類／同居人	☐ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☐ 有（ 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☒ Host father 子供 ☐ 男の子（ 人） ☐ 女の子（ 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☐ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ 先の印象	食事がよかった 優しくしてくれた
住居について注意	特になし
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☐ 購入しなかった ☒ SIM カードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☒ E-mail ☐ iMessage ☐ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	特になし

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費		4 万円	☒ 現金 ☒ クレジットカード
日用品			☐ 現金 ☐ クレジットカード
観光費用		5 千円	☒ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代		5 万円	☒ 現金 ☒ クレジットカード
交通費		5 千円	☒ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		10 万円	

現地での学習面について
上のクラスは英語力が向上すると思うが、下のクラスは遊びみたいなのが多かった

現地での生活面等について
暮らしやすかった 安全だった

研修を通して得たもの
一人で生きていく力 リスニング能力の向上 友達

今後の学習計画について
TOEIC を受ける スピーキング能力の向上

研修参加を検討している学生へメッセージ
ブリスベンのシティは日本人が結構多かったので、外国人しかいない環境がいいのならお勧めはしない 逆に日本人が多かったので過ごしやすかった 観光地は多くはないので、観光目的の人はお勧めしない 現地の人は優しい人が多かった

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 26 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	機械工学系
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2024 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	日常会話でよく使うフレーズをまとめておく そのフレーズをあまり考えなくても話せるようになるくらいまで練習する
準備で苦労したこと	持っていく荷物に漏れがないか準備をすること 不安を強く感じていたので、それに対処すること
他に必要な準備等	現地の人の発音を聞き取ることは想定以上に難しくリスニングの対策を行く前にしておくとい

研修に参加したきっかけ
今までとは違う環境に身を置くことによって、多くの学びや気づきを得て自身を成長させたかったから 文化が異なる人や、今まで関わったことのない人々と関わることによって、コミュニケーション能力や人とのより良い付き合い方を学びたかったから 英語力を上げたかったから

参加前の目標	
なるべく多くの学びと気づきを得ること、そのために積極的に多くの活動すること 具体的には、なるべく多くの人と関わり、多くの場所に行くこと	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
努力したことは慣れない環境で少し疲れは感じていたが、多くの行動をとったこと、その結果、日本では起きえないような想定していなかったような出来事が多く起き、そのような出来事に対してその事実を当然起こるものだということを受け入れられるようになったこと、そしてその時に、今この状況で自分は何をするべきなのかということについて考えられ、そのように行動することができたこと	

現地到着後	
現地での出迎え	☐ 有 ☐ 大学関係者が空港で迎えてくれて、その後専用バスで大学に到着後、ホストファミリーと合流後、ホストファミリーと一緒に家へ
オリエンテーションの有無／内容	☒ 無
渡航後必要な手続き	無
研修先の雰囲気	かなり温かく接してくれる 割と落ち着いた空気感

研修について	
先生や学生に関して	かなり丁寧な人が多い マナーや言葉使いも非常に親切
授業の難易度や充実度	全く分からないというような内容はなかったが、授業では先生が英語のみで説明をするので、今何をすればいいのかがわからなくなってしまう時があった。 スムーズに授業は進むので、充実していた時間だったと感じた。

クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	大体同じような英語力の人達であったと思うので、同じような課題を助けあって取り組むことができた
大学の施設や周囲の環境などに関して	かなり広く、建物を間違えることはあったが、それでも海外の大学らしいなと楽しむことができた 日本人もかなり多かった

生活について	
住居の種類	ホームステイ ☐
住居の場所	☐ キャンパス外 バスで約 1 時間
部屋の種類／同居人	☐ 1 人部屋 同居人： ☐ 有（4 人） ☐ ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☐ 有 ☐ 家族構成： ☐ Host mother ☐ Host brother ペット 有→ ☐ 犬
共有部分	☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン ☐
食事	☐ ☐ ホストの料理 ☐
学生寮・ホームステイ先の印象	非常に好意的に接してくれた 親切な対応だった
住居について注意	家に帰ってきたら必ずカギをかけること
生活費等支払い手段	☐ 現金 ☐ クレジットカード ☐ デビットカード アドバイス：J C B カードは使えない場所が多い
携帯電話	☐ SIM カードを購入
現地での友人等との連絡手段	☐ LINE ☐ iMessage
病気や怪我等での通院	☐ 無
医療関係の注意事項	特に無

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	パン、お菓子、水	5 万円	☐ 現金
日用品	洗剤、爪切り	1000 円	☐ 現金
観光費用	フェリー、動物園入場料	3 万円	☐ ☐ クレジットカード
お土産代	コップ、カバン、お菓子	5000 円	☐ 現金 ☐
交通費	GO カード	3500 円	☐ 現金
			☐ 現金
			☐ 現金 ☐
			☐ 現金 ☐
総額（概算）※日本円で記入		89500 円	

現地での学習面について
会話の中で話したいけど、それを英語で表現できなかった場合などには、後で調べてその内容をノートにまとめていった 授業の他に宿題もあったので、それが少し大変だった

現地での生活面等について
思っていたよりもかなり治安もよく、割と安心して過ごすことができた しかし、稀にお金をくださいといきなり話してくる人もいたので、少しだけ注意が必要だと感じた

研修を通して得たもの
今まで、全く経験したことがない環境に身を置いてみることで、日本にいた時には起こりづらいトラブルが起き、それに対してそのような出来事は当たり前起きるものであるということを受け入れ、そこからあまり驚くことなく、その時にすべきことをしていく姿勢を身に付けられたと感じる

今後の学習計画について

すぐに、意味を理解できる単語、文法がかなり少ないと感じたので、同じ単語、文法を繰り返し勉強し、自分の身になるように勉強していきたい
その成果として、Toeic の試験を受けていきたい

研修参加を検討している学生へメッセージ

知らない土地で 3 週間も生活するというのは、かなり大変そうだったと思う、とても不安に感じたり、行きたいけど参加をためらってしまうことも多いと思いますが、実際に行ってみると驚くほど時間の流れは早く、楽しく過ごすことができ、予想していなかった不幸なトラブルも確かに起きますが、それでもそのような想定外のトラブルがあらかじめ起きると想定しておけば、実際にトラブルに遭遇した場合でも対処できると思いますし、対処する力も身につくことも確かなことだと思いますので、あまりに過度に警戒しすぎるのが原因で参加をためらってしまうのは少し損してしまう場合が多いのではないかと感じました

もし、参加したいと考えているのなら、参加すれば今の自分よりも確実に一歩成長することができると思いますので、参加をお勧めします

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 18 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	情報メディア学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 8 日 (サイクロンの影響により実際の帰国日は 3 月 11 日)

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	YouTube でリスニングの練習 ChatGPT と英会話練習
準備で苦労したこと	荷造りの際、帰りのお土産のスペースや重量を考慮して、持っていく荷物を選別した。また、機内に持ち込めるものと持ち込めないものを分け、税関で引っかからないように持っていく食品にも気を使う必要があった。
他に必要な準備等	Tense(時制)や、present perfect continuous(現在完了進行形)などの文法に関する英単語を覚えていくともっとスムーズに授業が理解できたのではないかと後悔している。

研修に参加したきっかけ
自分の英語力をもっと上達させたいと思ったから。海外での生活に興味があった。
参加前の目標
人見知りを隠し通して積極的に英語で交流する

設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
学校では出来るだけ英語を使い、家では自室に籠らずホストファミリーと一緒に過ごすようにした。特に、ホストファミリーが何かしらのイベントに誘ってきたときは脊髄反射で Yes と答えるようにした。結果、現地の生活をたくさん体験することが出来た。また、ホストファミリーとも仲良くなり、楽しくリラックスして英会話することが出来た。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：zoom で大まかな授業日程などの説明があった。英語での説明だったので正直分からない部分があった。
渡航後必要な手続き	Go-card の購入
研修先の雰囲気	私のクラスはほとんど日本人の留学生で占められていたが、積極的な人が多くて、昼ご飯の時も英語で会話していた。みんな間違いを恐れずどんどん英語で発言するので、緊張したりストレスを感じたりしながら英会話することはあまりなかった。

研修について	
先生や学生に関して	週の前半と後半で先生が変わる。ある日唐突に生徒が増えることもあった。グループワーク中心で積極的に英語を話させる先生もいれば、座学中心であまり英会話の機会を設けない先生もいた。
授業の難易度や充実度	難易度は、少しついていけなかったときもあったが、基本的に合っていた。授業では主に文法の時制について勉強した。内容はほとんど中高で学んだものとほとんど同じだったが、より細かく意味の違いやシチュエーションに合わせた使い方を教わって、正直学べば学ぶほど混乱した。しかし、ネイティブの感覚を知ることが出来て面白かった。

クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	英語のレベルに応じてクラス分けがされるので、全く授業についていけないということはないと思う。ほとんど日本人だったが、大学ごとに固まっているわけでもなく普通に交流していた。
大学の施設や周囲の環境などに関して	敷地が広すぎて探索し甲斐があった。私たち短期留学生が使っていた棟はバスステーションからそう遠くなかったので、方向音痴でもなんとかたどり着ける。基本的に上の階で授業するが、下の階には昼ご飯を食べれる場所もある。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 40 分
部屋の種類／同居人	☐ 1人部屋 ☐ 2人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☐ 有（人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☐ 有 ☒ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☐ 男の子（人） ☐ 女の子（人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☐ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	色々な場所に連れて行ってくれ、私が友達と過ごす時間も尊重してくれた。過干渉でもなく、放任でもないちょうどいい距離感だった。ホストマザーと二人だけの生活で、他の人を気にせずゆっくり英語で会話できた。
住居について注意	猫が二匹おり、よく服の上でくつろいでいたので毛玉まみれになった。もしペットがいて気になるなら、コロコロを持っていくべし。猫好きの私には楽園でした。
生活費等支払い手段	☐ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード

2024 年度 春季海外短期研修

	☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☐ SIM カードを購入 ☒ その他（esim）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☒ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	常備薬をもっていると安心できる。オーストラリアの紫外線 はかなりやばいのでしっかりした日焼け止めをもっていく か現地購入することをすすめる。

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費		20000 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品			☐ 現金 ☐ クレジットカード
観光費用	テーマパーク、動物園、博物館、美術館、その他	45000 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代		20000 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	バス	5000 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		90000 円	

現地での学習面について
学校は 8 時 30 分から始まり 13 時に終わった。主に文法の時制について学んだ。グループワークが多めで週の後半はプレゼンテーションをした。学校外では課題やテストに取り組んだ。課題に関しては、必須のものは少なく、自主的に取り組むものが多かった。

現地での生活面等について

ホストファミリーはとても親切で、朝食、ランチボックス、夕食、お菓子まで作ってくれた。そのため、食べ物に困ることはなかった。洗濯は週一回でホストマザーがやってくれたが、かなりしわしわの状態で返ってきたので手入れが大変な服は注意。バス、電車はどこまで行っても一回 50 セント(50 円ぐらい)だったので交通費はとても安かった。ただ物価は高い。コーラより水の方が高いという謎の現象を目にすることがあった。大学では至る所に給水機があるので飲み水代を浮かせたい人は水筒を持っていくといい。ただし土味がする場合がある。気になるならお茶のティーバックを入れて味をごまかすのもあり。

研修を通して得たもの

今までは英語で話そうとすると 10 秒ほどのタイムラグを作ってしまう、全く会話にならなかった。しかし、無理やり英語をひねり出す毎日を送っていると、そのうち口から勝手にフレーズが飛び出すことが増えて、会話を長く続けられるようになっていった。また、休日は友達と遠くまで遊びに行くことが多かったが、拙い英語でもチケットを買えたり道を聞いたりすることが出来て、海外でもある程度やっていけるんだなという自信がついた。

今後の学習計画について

海外の YouTuber の配信を見つつシャドーイングなどを行うことで、リスニング力と発音の向上を目指す。また、ChatGPT と英会話の練習も定期的にやっていきたい。

研修参加を検討している学生へメッセージ

シャイで引き籠もりがちな人間なので参加するかどうかは最後まで迷ったし、参加を申し込んだ後も眠れなくなるほど後悔したが、実際行ってみたらどうにかなりました。今はオンライン留学などもあるが、やはり実際に行って学ぶのが一番だと思います。生活の中で自然とシチュエーションに合わせた英語やフレーズを覚えることが出来るからです。なにより、学んですぐに使える環境なのでモチベーションが上がります。意外と何とかなるので不安に思っている方もぜひチャレンジしてみてください。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 15 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	応用化学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	リスニング対策 英会話
準備で苦労したこと	パスポート ワクチンの接種
他に必要な準備等	体調管理

研修に参加したきっかけ
海外での生活を学生のうちに経験しておきたかった。 食文化についても知っていた。
参加前の目標
英語力を少しでも伸ばす。日本ではできないことを多く経験し、知見を広げる。
設定した目標のために現地で努力したこととその結果
ホストファミリーと積極的に会話をした。 ツアーや観光地に訪れた。

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 大学関係者 ☐ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：オーストラリアでの生活で気を付けるべきことや英会話講習
渡航後必要な手続き	
研修先の雰囲気	親切な方が多い 大学はとても広い

研修について	
先生や学生に関して	先生は親切で明るい方が多い。 学生は日本人が特に多く、韓国人やサウジアラビア人、中国人もいる。
授業の難易度や充実度	クラス分けテストが実施されるため、自分にあった難易度で授業を受けることができた。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	東京電機大学の学生は自分を含め 2 人。 クラスの合計は 18 人で、日本人が 17 人、韓国人が 1 人。
大学の施設や周囲の環境などに関して	ジムやバスケットコートなどがある。 キャンパスを移動できる無料シャトルバスもある。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 60 分
部屋の種類／同居人	☒ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（1 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☐ 男の子（ 人） ☐ 女の子（ 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☐ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	明るい方で、いろいろな場所に連れて行ってくれた。 夕食後はボードゲームを楽しんだ。
住居について注意	夕食が必要かどうかを早めに伝える。
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☐ 購入しなかった ☒ SIM カードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☐ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	歯医者に日本で行っとくべき

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食	20000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	日焼け止めなど	10000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	ツアーに参加	40000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	お菓子やマグネットなど	30000	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	Go card チャージ	1500	☒ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		101500	

現地での学習面について
平日に 8:30~13:00 までである。 宿題も提出が必要である。

現地での生活面等について
紫外線が強く日焼け止めを塗らないと、すぐに日焼けする。 外食は高く、スーパーの食品や安い印象を受けた。

研修を通して得たもの
初めての海外の経験であり、パスポートの取得から帰国まで多くのことを経験することが出来た。 留学前は友達ができるか、生活を楽しめるかが心配であったが、積極的に話しかけることで、友達も作ることができ、現地でできた友達と生活を共にすることが出来た。 日本だけでなく、オーストラリアでの生活を経験することで多様な文化や社会を理解することができた。 これらの経験を忘れず、日本でも活かしていきたい。

今後の学習計画について

継続的な英語学習や英語会話をしていきたい。

研修参加を検討している学生へメッセージ

海外での生活を不安に思う方は多くいると思いますが、適切な準備をすることで留学生活を楽しめると思います。留学前に留学先でのルールや文化、観光地を知る。英語を勉強し、最低限の会話をできるようにするなど、これらの準備をするだけで留学中の失敗を避けられ、よい思い出ができると思います。

部屋に閉じこもらず、外に出て日本では経験できないことをたくさん経験してほしいです。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 20 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	情報システムデザイン学系
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	TOEIC に向けての勉強。 日常会話で使えるようなフレーズを事前に調べ確認をした。
準備で苦労したこと	荷物の重量 20kg を超えないように気にしながら準備したこと。
他に必要な準備等	SIM カードの準備 ホームステイ先へのお土産<日本のおかしは美味しいと喜んでくれたのでオススメ(ハッピーターンやハイチュウが特に喜ばれた)>

研修に参加したきっかけ	
英語を話す環境で一度生活をしてみたかったから。留学を通じて日本とは違う現地の文化や習慣などに触れてみたかったから。	
参加前の目標	
英語を積極的に使ってコミュニケーションをとること。 英語力の向上	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
会話している時には英語の文法など間違っている部分は多々あったと思うがそこはあまり気にせずに積極的に会話しようとしたおかげでなんとかコミュニケーションをとることが出来た。英語圏で生活するうちに耳が徐々に慣れ、リスニング力は絶対上がったと思う。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☐ 有 ☒ 無 内容：
渡航後必要な手続き	Go カード（交通系 IC）の購入。
研修先の雰囲気	現地の人はとても明るくフレンドリーであり、英語を話しやすい環境であった。クラスには日本人が多くいたため馴染みやすい環境であった。

研修について	
先生や学生に関して	先生達は丁寧に優しく教えてくれるのでとても勉強になったなと感じた。また時々ゲームなどをはさみながら授業を行ってくれてくれたので楽しく受けることが出来た。 学生に関しては日本人が比較的に多かったためすぐに友達を作ることが出来た。
授業の難易度や充実度	授業難易度はそこまで高くなかったが、すべて授業は英語で行われるため理解に少し時間がかかり、その点では苦労した。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	クラス分けは日本人が多く馴染みやすかった。他大学の学生ともすぐに仲良くなることが出来た。
大学の施設や周囲の環境などに関して	大学のキャンパスは広く、設備も充実していた。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☒ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 60 分
部屋の種類／同居人	☒ 1人部屋 ☐ 2人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（ 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☒ 男の子（ 1人） ☒ 女の子（ 2人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 犬 ☐ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	ホストファミリーはとてもフレンドリーであり生活しやすかった。子供が多い家庭だったため一緒に遊ぶなど家でも楽しく過ごせた。
住居について注意	特になし
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☒ SIMカードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食・飲み物代	4 万円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品		0 円	☐ 現金 ☐ クレジットカード
観光費用	動物園	5 千円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	服・おかし等	3 万円	☐ 現金 ☐ クレジットカード
交通費	バス・電車	5 千円	☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		8 万円	

現地での学習面について
現地での学習は学校の授業と毎日出る宿題がメインだった。また週末には授業のまとめテストのようなものがあった。

現地での生活面等について
飲み物の値段が高いため、スーパーで水をまとめ買いしておくのがおすすめです。飲み物以外も物価は日本より高いので多めのお金を持っていた方がいいと思う。基本的に交通手段はバスで困らなかったが、電車で移動する際には路線が日本より充実しておらず目的地までものすごく時間がかかることが多かった。

研修を通して得たもの
研修を通じて日本とは違う文化や新たな価値観に触れる事が出来た。またカタコトな英語でも伝えようとする意志があれば言いたいことはある程度相手に伝わるので積極的にコミュニケーションを取ろうとする大切さ実感した。その結果、英語で話すことへの抵抗感も留学前に比べてなくなり、海外という新しい環境で生活したことで自分に自信がついたなと感じています。

今後の学習計画について

今後は引き続き TOEIC に向けて勉強や、英語のアプリなどを利用して留学で得た学びを無駄にせず英語の勉強をしていきたいと考えている。

研修参加を検討している学生へメッセージ

海外で生活した 3 週間は英語力向上はもちろんだが本当に貴重でいい人生経験になったなと日本に帰ってきて改めて感じるので留学行くか迷っている人は絶対に参加した方がいいと思います。研修前では自身の英語力や海外の生活に不安を持っていたが、いざ生活してみるとホストファミリーはとてもフレンドリーであり、英語の授業で一緒になったクラスメイトともすぐに仲良くなることができたので英語を話すハードルが下がり留学前に感じていた不安はそれほど感じずに研修を終えることが出来た。また大学内や街中では日本人が意外と多かったのであまり気負わなくても大丈夫です。そのため留学に興味のある人は安心して研修に参加してみてください。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 16 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	情報メディア学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	英会話 単語
準備で苦労したこと	R と L の発音の違い ホームステイ先の情報が遅かったためお土産を何を買うのがギリギリまで迷った
他に必要な準備等	カードの作成（私的にはプリペイドカードがおすすめ）

研修に参加したきっかけ
研修に参加したきっかけは 2 点。 1 点目は、英語力の向上だ。現状の英語力よりも少しでも向上させるために、英語を毎日使わないという環境を作りたかったからだ。そして、現地の人には英語しか通じないので、英語を使ってどうやってコミュニケーション力を上げるのかを知りたかったから。 2 点目は、学生のうちにオーストラリアという国で様々な経験を積みたかったからだ。オーストラリアでのきれいな海で泳いだり、現地ならではのご飯を食べたいと大学入学時から考えていたからだ。
参加前の目標
英語力の全体的な向上と多くの経験を積むこと。

設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
日本人同士でも英語で話したり、ホストマザー等様々な人と話した。意外と文法がぐちゃぐちゃでも伝わるという点が分かった。そして、放課後や休日に様々な場所にいった。そこで私は初めての経験を詰め、充実した経験となった	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☐ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：必要な手続きの説明 オーストラリアの特徴
渡航後必要な手続き	大学のマイページの登録
研修先の雰囲気	日本人や様々な国の留学生も多かった。そして、先生、生徒共にアットホームの印象。

研修について	
先生や学生に関して	アットホームで質問したら解答してくれる。学生はみんな優しい印象
授業の難易度や充実度	ゲームやプレゼンをしつつ楽しみながら授業を行った。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	みんな優しく、アットホームなので、仲良くなりやすい環境だった。クラス分けによって授業の内容が全然違うので、高いレベルを受けたいなら、しっかり勉強をして。テストで点数を取る必要がある
大学の施設や周囲の環境などに関して	大学に冷蔵庫や電子レンジもあるので食べ物の温度調節もできるし、お手洗いや綺麗で快適だった。また、大学も広いので、探検するのも楽しかった。そして、ブリスベンの中心部に近いので、放課後のアクセスがしやすかった。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☒ 徒歩 ☒ バス ☒ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で 約 45 分
部屋の種類／同居人	☒ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☐ 有（ 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☐ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☐ 男の子（ 人） ☐ 女の子（ 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☐ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	アットホームで毎日会話してくれる。
住居について注意	お風呂が短いので、注意。ハウスルールがそれぞれあるので、自分の家ではないの注意。
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☐ クレジットカード ☐ デビットカード ☒ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☐ SIM カードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	週末のご飯等	2 万	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	水 お茶葉等	1 万	☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	Sea World, Australia zoo 等諸々	6 万	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	バイト先や友人、家族への お土産	4 万	☒ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	登校、観光	6 千円ほど	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		13 万 6 千円	

現地での学習面について
大学ではもちろんいろんなところに遊びに行くべきなので、いけてよかった。大学の授業がすべて勉強ではなく、お出かけした際に日本と違うところを見つけたり、現地の人と関わり合う事等そこでの経験もそれぞれの勉強になりました。

現地での生活面等について
お風呂時間が短いので、髪の毛を十分に洗えないので、対策は必要かも

研修を通して得たもの
挑戦してみるという事。やらない後悔をするよりもやってみて、どうだったのかを分析し、次に生かすというサイクルが見についたと思う。また、コミュニケーションも片言でも身振り手振りで伝わるということも知れてよかった。

今後の学習計画について

定期的に T O E I C を受けたり、英会話を続けたり等英語の勉強を続けていきたい。今年に T O E I C で 700 点を超えることを目標にしていきたい

研修参加を検討している学生へメッセージ

行かない後悔よりも行く後悔をしてください。オーストラリアでしかできない体験も多いです。いろんな体験を積み、たのしんでください

海外短期研修報告書

記入日 : 2025 年 3 月 28 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	建築学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	特に何もしていません。自分の英語能力を知るために現地で英語を学びたいと思い何もせずに留学に臨みました。
準備で苦労したこと	ホームステイ先のお土産選びに苦労しました。ホームステイ先の人は様々な留学生を受け入れているのでお土産が被らないようにと思いながら選ぶのに対して苦労しました。
他に必要な準備等	・ 高圧な電力にも耐えられるドライヤー ・ 多めの着替え ・ コネクタがたくさんあるコンセント ・ 海外で対応できるカード

研修に参加したきっかけ	
兄が流暢に英語を話す姿を見て尊敬し自分も英語が話せる人間になりたいと思い参加したのと、実際に海外の生活を体験したいと思い参加しました。	
参加前の目標	
・ 日常会話程度には英語を話せるようになる。 ・ 海外の友達をたくさん作る ・ 日本語はできるだけ使わずに英語だけで生活する。	

設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
常に英語をしゃべることを意識していたので翻訳はできるだけ使わずホストファミリーはもちろん近所の人や出かけた時などにそこにいた人にスピーキング練習をしたいから少しだけお付き合いしてほしいといい練習するなど英語能力の向上に努めました。その結果三週間しかない短い期間で最後の一週間は少しだけ英語が喋れるようになりました。また学校で開催しているパーティーなどに参加して現地の環境や友達も作ることができました。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☐ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☐ 有 ☐ 無 内容：
渡航後必要な手続き	入国審査
研修先の雰囲気	全員フレンドリーで活気に満ち溢れた空間

研修について	
先生や学生に関して	先生も優しく誕生日パーティーなどもしてくれる愉快的先生でクラスのみんなもとてもやさしく授業終わりにはいつも遊びに行っていました。日本に帰った今でも時々連絡を取り合っています。
授業の難易度や充実度	日によっては少し難しい内容もありましたが基本的にはスピーキングに特化した授業で満足度は高いです。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	一人を除いて全員日本人でしたが基本的には英語で会話をしてみんなとてもフレンドリーなので充実した毎日を過ごせた。

大学の施設や周囲の環境などに関して	交通機関が充実していて都心部まで電車で五分くらいの場所にあつてとても過ごしやすかった。
-------------------	---

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 40 分
部屋の種類／同居人	☒ 1人部屋 ☐ 2人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（ 1人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☒ 男の子（ 1人） ☐ 女の子（ 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 犬 ☐ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	毎日おいしいご飯を提供してくれてとてもやさしい人でした。
住居について注意	特になし。
生活費等支払い手段	☐ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☒ 購入しなかった ☐ SIMカードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☐ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食、飲み物	4 万円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	特になし		☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	入場料や体験量	5 万円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	靴、お菓子、キーホルダー	3 万円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	ゴーカード	5 千円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		12 万 5 千円	

現地での学習面について
毎日宿題を出されていたのに＋自分は現地の人と実際に会話をすることで英語能力を高めていました。

現地での生活面等について
物価が高いので水稻などを持参して給水器などで補給することをお勧めします。しかしお店に入ればお店の人がフレンドリーに対応してくれるのでお金は気にせず楽しんだ方がいいです。

研修を通して得たもの
人柄の良さに感動しました。みんなフレンドリーで英語が伝わらなくても理解してくれようとしてくれていてとても楽しい三週間を過ごすことができました。 工夫して勉強することで三週間でも少し英語をしゃべれるようになったことに感動しました。

今後の学習計画について
日本で行われている英会話会などに参加して積極的に英語の勉強をしていきたいと思いました。

研修参加を検討している学生へメッセージ

少しでも行きたいと思っている人がいたら絶対に参加した方がいいです。自分も最初不安だらけでしたがいざ行ってみるとみんなが支えてくれて暇な日が一日もなく英語の環境でストレスなく学べることができました。言語の問題などは置いておいてとにかく経験してみるということが自分の人生を大きく変えるきっかけになるかもしれません。一歩踏み出して挑戦してみましよう！

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 19 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	情報ステムデザイン学系
研修期間	令和 7 年 2 月 14 日 ～ 令和 7 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	・単語帳を読み単語力の向上 ・動画教材による日常で使える会話の勉強
準備で苦労したこと	荷物量の調整 ETA や海外大学の手続き
他に必要な準備等	クレジットカードの作成

研修に参加したきっかけ
現代社会はグローバル化が進み、異なる国や文化の人との交流が当たり前になっています。海外留学を通じて多様な価値観を学び、国際的な視野を持ちたいと考え、参加しました。
参加前の目標
・英語力の向上 ・多文化の理解 ・国際的な視野の獲得

設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
ホストファミリーやお店の店員や大学のクラスメイトと積極的に話した。地元のニュースを見たり、映画やアニメを日本語字幕で見たりした。 簡単な会話の聞き取りや受け答えなどができるようになった。短い本やニュースが理解できるようになった。国によって文化が異なり様々な考え方やマナー、振る舞いがあり、違いを理解することができた。様々な文化が存在することを理解し視野を広げることができた。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☒ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：キャンパスの案内
渡航後必要な手続き	バスに乗るための GO カードの作成
研修先の雰囲気	自然が多い 人がとてもやさしく、話しかけても心よく答えてくれる 物価が高い

研修について	
先生や学生に関して	先生は丁寧にわかりやすく教えてくれて、質問をしたらわかるまで教えてくれた。 現地の学生は親切にしてくれて、話しかけたらフレンドリーに答えてくれて助かった。
授業の難易度や充実度	文法や新しい単語など基礎を重点的にやった。現在形と過去形から始まり、少し簡単すぎることがあった。 根本的な理解につながったと感じた。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	もう少し海外の生徒や現地の学生の人数を増やしてほしい。日本の他大学の人とも仲良くなることができた。
大学の施設や周囲の環境などに関して	きれいで広く、売店や食堂も充実しており楽しく生活することができた。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☐ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で約 40 分
部屋の種類／同居人	☒ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（3 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☒ Host father 子供 ☒ 男の子（1 人） ☐ 女の子（ ）人 ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ 先の印象	とても親切にしてくれた。料理も様々な国のものを用意してくれて楽しむことができた。シャワーや洗濯も制限なく使うことができた。
住居について注意	ハウスルールがあるか確認した方がよい
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☐ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☐ 購入しなかった ☐ SIM カードを購入 ☒ その他（eSIM を購入した。）
現地での友人等との連絡手段	☐ LINE ☐ Facebook ☒ WhatsApp ☐ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☒ その他（SMS）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	水, ステーキ, ハンバーガー, お菓子等	29388 円	☒ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	靴	8067 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	動物園, マリンスポーツ	16799 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	お菓子, マグカップ, 紅茶, お酒等	18597 円	☐ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	バス, 電車	2902 円	☒ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		75753 円	

現地での学習面について
文法の基本的な部分や、場面別で使う単語など比較的簡単な内容だった。しかし、現在形と過去形などから始まり少し簡単すぎると感じた。

現地での生活面等について
季節が夏だったが、湿度が高くなく、夜は涼しかったので日本の夏より過ごしやすかった。バスが主な移動の手段でほかにも、船や電車がかった。交通費は安価だが、物価は高い。多国籍なオーストラリアでは、様々な国の料理があり、楽しむことができる。

研修を通して得たもの
英語力の向上はもちろんだが、異文化の理解と柔軟な思考の獲得にもつながった。多様な価値観に触れることで、自分の考え方が広がった。自分のあたりまえが他人のあたりまえで得ないことを改めて知ることができた。また、一人で問題を解決する力、新しい環境に適応する力、長選力が身についたと感じる。

今後の学習計画について
・ 単語力の向上 ・ 文法力の向上 ・ TOEIC750 点

研修参加を検討している学生へメッセージ
単に語学を学ぶだけでなく、自分の視野を広げ、世界をより深く理解する貴重な経験になります。特に「異文化理解」や「多様な価値観の獲得」は、今後の人生やキャリアに大きな影響を与えることになると感じました。柔軟な思考力の適応やコミュニケーション能力の向上、問題解決能力の向上など留学を経験することで得られることは特別で将来につながるばかりでした。柔軟な思考が得られ、自分の将来がより楽しいものになると思うので、ぜひ一歩踏み出してみてください。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 16 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	デザイン工学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 2025 年 3 月 11 日 (サイクロンにより 3 日延長)

研修先情報	
研修先大学(機関)	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	・ YouTube などを用いて英語のリスニング ・ 英会話本を買って読む ・ 日常で使う英単語本を買って読む
準備で苦労したこと	・ 初めての海外だったので持ち物を考えるのが大変だった。 ・ ホームステイ先によって洗濯の頻度ややり方が異なるので、どれだけ服やハンガーを持っていくか悩んだ。 ・ 重量が手荷物(サブバッグあり) 7 kg、預け荷物 20 kg 以内と決まっていたので、帰りのことも考えながら荷造りするのが大変だった。 ※パソコンを持っていく必要があるので、預け荷物は最低でも 25 kg ないときついと思った。来年度増加希望
他に必要な準備等	・ 何事にも恐れないマインド ※ドライヤーは海外対応以外の日本のものは使えないので持って行かない方がよい。最悪発火する。もしドライヤーを使用したい場合は、現地で安いものだと 1,000 円から手に入られるため、買って、帰るときは向こうに置いて来た方がいいと思う。

研修に参加したきっかけ
今回の研修が海外に行ける絶好チャンスかもしれないと思い申し込んだ。昔から海外に興味があったが、コロナなどがあり今まで行ける機会がなかった。また、いろんな人と会話をし、文化の違いを学び、自分の英語を伸ばすためにネイティブがいる環境で過ごしてみたかったため参加を決意した。
参加前の目標
・英会話を上達させること ・文化の違いを知ること ・英語話者の友達を作ること
設定した目標のために現地で努力したこととその結果
・時間があるときはカフェやショッピングへ行き、ネイティブと話す機会を増やすようにした。注文やお支払いは英語でできるようになったと思う。 ・シティーの図書館で毎週火、木、金に国際的なコミュニティが開かれていたので友達と参加した。ブリスベンに住んでいる外国人が参加する会なので、オーストラリア人はいなかった。しかし、様々な国籍の人とお互いに母国語でない英語で会話するのはとても刺激的で、英語学習のモチベーションを上げてくれるいい機会となった。 ・放課後にキャンパス内にいる学生に話しかけ、オーストラリア人の友達を作った。ネイティブでない外国人よりも地元の人たちの方がゆっくり分かり易く話してくれるので、会話しやすかった。

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：クラス分けテスト（Writing & Reading）、オリエンテーション（オーストラリアでの過ごし方） ※Zoom で出国前に行った
渡航後必要な手続き	・eSIM の接続 ・大学の個人 I D の作成
研修先の雰囲気	現地の人たちはとても優しく、治安もよかったため、街の雰囲気はとてもよかった。夜は街灯が少く危ないため、なるべく一人で出歩くのは避けた方が好ましい。

研修について	
先生や学生に関して	・私の先生は Speaking と Listening 重視で、授業中に英語で会話する時間が多かった。 ・クラスには自分も含め 17 人の生徒がいたが、16 人は日本人だった。授業以外の時間は日本語で会話することが大半だったので英語力を伸ばすのは難しかった。
授業の難易度や充実度	先生の話をしっかり聞いてさえいれば何も困ることはなかった。授業内に英語で話す時には苦労することもあったが、自分の英語のレベルを知るいい機会となった。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	クラスは Writing と Reading のみで振り分けられているので、クラスの中に英会話が得意な人と苦手な人の差に大きな差があったように感じた。 オーストラリアにいる間は、せっかくなら他大学のひとと生活を楽しみたいと思い、同じ大学の人とは距離を置いていた。向こうでできた友達と放課後にショッピングに行ったり、カフェに行ったりして一緒に遊んだ。
大学の施設や周囲の環境などに関して	・大学内にカフェが何件もあり、近隣にもスーパーマーケットや食事処があった。 ・大学から無料のシャトルバスが出ており、市内へ簡単に移動することができた。市内へは 10 分ほどで、街に出てしまえば買い物や食べ物、ビーチ、ミュージアムなど何でもそろっている。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☒ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☒ 徒歩 ☒ バス ☒ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ） で約 50 分
部屋の種類／同居人	☒ 1 人部屋 ☐ 2 人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（4 人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☐ Host father 子供 ☐ 男の子（ 人） ☒ 女の子（1 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）

共有部分	☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン ☐ その他 ()
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☐ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他 ()
学生寮・ホームステイ 先の印象	ホストファミリーはホームステイの受け入れには慣れている印象だった。食事もパン、ライス、パスタ、麺など様々な食事を出してくれた。気に入った料理は何回か出してくれ、とても優しかった。ハウスルールがいくつかあったが、当たり前のことが多かったので、日頃から気を付けてさえいれば何の問題もなかった。
住居について注意	・鍵をちゃんと閉めること（動物が出ないように注意） ・やりっぱなしには注意（電気、水）
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☒ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他 () アドバイス：キャッシュレス社会なので、カードは必須。多くのお店は Visa と Mastercard のみ使用可能。そのため、Visa と Mastercard をそれぞれ一枚ずつ、無くした時のことも考えて最低でも二枚持っているといいと思った。
携帯電話	☐ 購入した ☐ 購入しなかった ☒ SIM カードを購入 ☐ その他 ()
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☒ WhatsApp ☒ E-mail ☐ iMessage ☒ Instagram ☐ その他 ()
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他 ()
医療関係の注意事項	医療機関にかかってないのでわからない。

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食、カフェ	23,700	☒ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	シャンプー、リンス	1,000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
観光費用	テーマパーク、動物園など	23,000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	お菓子、雑貨	20,000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	通学、観光	2,300	☐ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		70,000	

現地での学習面について
キャンパスは広く、自然に囲まれていてとても過ごしやすかった。 課題は基本毎日あった。電大の英語の授業で多く使われている Cambridge One から出されることが多かったので、いつもと変わらず取り組むことができた。私のクラスはコミュニケーション重視だったので、「オーストラリア人と会話すること」が毎日課題として出された。 教室内の冷房は自分たちで調整ができないようで、扉を開けるなどして調節をしていたがそれでも席によっては寒すぎることもあった。そのため、脱ぎ着できる服を持ってくると思う。私は、UV カットの薄い上着を中でも外でも常時着ていた。おかげでそこまで日焼けもせずに過ごすことができたので、日焼けが気になる人は UV カットの上着を一つ持っているのが個人的におすすめ！

現地での生活面等について
食事や乗り物の乗り方、お手洗いのシステムは日本とそんなに変わらないので、そんなに不便に思うことや戸惑うことは少ないと思う。 交通機関（電車、バス、フェリー）は、Go Card というカードをもっていれば、簡単に使うことができた。Go Card は、日本でいう Suica や PASMO のような交通カードで、駅やコンビニなどで購入することができる。幸い、私たちが行ったときは片道\$0.50（約 50 円）でどこへでも行くことができたので、公共交通機関はとても便利だった。乗り継ぎ方も Trans Link というアプリを使うと便利。

オーストラリアはキャッシュレス社会なので、支払いの際は現金よりもカードを使用することが多かった。念のためレシートはもらっておくといいと思う。レシートは頼まないともらえないので最後に「レシートください」というのを忘れずに。オーストラリアは物価が高いが、ホストマザーが毎日お昼用のサンドウィッチを作ってくれたため、食費を浮かすことができた。他の人たちもお昼は時間がないのもあり、家から同じように作ってもらったものを持ってきたり、自分で作って持ってきたりしていた。

研修を通して得たもの

研修に参加したことで、一緒に授業を共にした仲間、新しい友達や家族など、人とのつながりが増えた。また、自分を成長させることもできた。オーストラリア人以外の外国人とも直接話しをすることによって、文化の違いを直に感じることもできた。上手く会話を繋げることができない時もあったが、それも文化の違いからくる価値観の違いが関係していると感じることもあった。いろんな人と話してみて、今までよりいい意味で楽観的に物事を考えられるようになり、新たな自分を得た研修となった。

今後の学習計画について

日常英会話程度は習得するべく、Listening, Speaking, Writing, Reading の4技能を意識したバランスのいい学習をしていきたい。特に Listening と Speaking に力を入れて勉強していきたい。家で英語に関する動画などを見つつ、外部でも英会話教室などに通って本格的に英語を初めてみようと思っている。

研修参加を検討している学生へメッセージ

みなさんへ

私は今回の研修が、初めての留学で、初めての海外で、初めて尽くしのものでした。昔から海外に興味があり、今回の研修で新たな出会いや気づき、体験をしました。行く前に不安がなかったかと聞かれたら少しはありましたが、それよりも海外に行ける喜びと期待の方が大きかったです。人それぞれ研修に対する思いは違うと思いますが、研修を通して得るものは想像以上に多く、自分を更に成長させることができる大きな機会となると思います。研修への参加を迷っているのであれば、是非参加してください！研修を通してワンランクアップした自分に、今度は皆さんが出会えることを願っています。

海外短期研修報告書

記入日：2025 年 3 月 21 日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	電子システム工学科
研修期間	2025 年 2 月 14 日 ～ 年 3 月 11 日

研修先情報	
研修先大学(機関)	QUT
国名	オーストラリア
使用言語	英語

研修準備	
事前語学学習方法	YouTube などでは英会話の動画を見ていました。
準備で苦労したこと	SIM カードやカードの手続きに時間がかかりました。
他に必要な準備等	ホームステイ先へのお土産も時間をかけて準備しました。

研修に参加したきっかけ	
大学生になる前から兄の留学経験に影響を受けて興味を持っていたから。	
参加前の目標	
リスニング力を少しでも上げるかつ海外の生活を楽しむこと。	
設定した目標のために現地で努力したこととその結果	
日本にいる時よりもクラスの人などに積極的に話しかけました。その結果、英語を話す機会が増えました。また、英語に少し慣れて楽しい時間を過ごせました。	

現地到着後	
現地での出迎え	☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 大学関係者 ☒ ホストファミリー ☐ その他（ ） 無→空港から滞在先までどのように移動しましたか？ ☐ 電車・地下鉄 ☐ バス・トラム ☐ タクシー ☐ その他（ ）
オリエンテーションの有無／内容	☒ 有 ☐ 無 内容：それがオリエンテーションだったかはわからないが、軽く学校を案内された
渡航後必要な手続き	Sim カードを Optus で買いました。
研修先の雰囲気	明るい人が多くとても楽しそうだった。 勉強熱心な人が多かった。

研修について	
先生や学生に関して	先生は曜日によって変わったのですが、分かりやすく優しく教えてくれるような人が多く成長できました。
授業の難易度や充実度	上から3番目のクラスに入ったのでスピーキングやリスニングの授業は苦戦しました。
クラス分けや日本の他大学からの学生との関係など	新潟大や神奈川大などいろんなところから来ていました。
大学の施設や周囲の環境などに関して	卓球をやる場所があり、放課後も現地でできた友人と充実した時間を過ごすことができました。

生活について	
住居の種類	☐ 寮（寮名）：Wilson ☐ アパート ☒ ホームステイ ☐ その他（ ）
住居の場所	☐ キャンパス内 ☐ キャンパス外 キャンパス（研修先）までの距離： ☐ 徒歩 ☒ バス ☒ 電車・地下鉄 ☐ その他（ ）で 約70分
部屋の種類／同居人	☒ 1人部屋 ☐ 2人部屋 ☐ その他（ ） 同居人： ☒ 有（ 5人） ☐ 無 ホームステイの場合：自分以外の同居学生 ☒ 有 ☐ 無 家族構成： ☒ Host mother ☒ Host father 子供 ☐ 男の子（ 人） ☒ 女の子（2 人） ペット ☒ 有 ☐ 無 有→ ☐ 犬 ☒ 猫 ☐ その他（ ）
共有部分	☒ バス ☐ トイレ ☒ キッチン ☐ その他（ ）
食事	☐ 自炊 ☐ 寮食 ☒ 大学内学食 ☒ 外食 ☒ ホストの料理 ☐ その他（ ）
学生寮・ホームステイ先の印象	親切にコミュニケーションをとってくれました。
住居について注意	特になし
生活費等支払い手段	☒ 現金 ☒ クレジットカード ☒ デビットカード ☐ 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） ☐ その他（ ） アドバイス：特になし
携帯電話	☐ 購入した ☐ 購入しなかった ☒ SIMカードを購入 ☐ その他（ ）
現地での友人等との連絡手段	☒ LINE ☐ Facebook ☒ WhatsApp ☒ E-mail ☐ iMessage ☐ Instagram ☐ その他（ ）
病気や怪我等での通院	☐ 有 ☒ 無 有→ ☐ 大学内のクリニック ☐ 最寄りの医療機関 ☐ その他（ ）
医療関係の注意事項	特になし

費用について（研修費用以外）			
項目	詳細	費用	支払方法
食費	外食、夜食	20000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
日用品	日焼け止め	1500	☒ 現金 ☐ クレジットカード
観光費用	動物園の入園料、	20000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
お土産代	お菓子	5000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
交通費	電車代、バス代	5000	☒ 現金 ☒ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
			☐ 現金 ☐ クレジットカード
総額（概算）※日本円で記入		55000	

現地での学習面について
分らない単語があれば、すぐ調べるようにしてその都度復習をしていました

現地での生活面等について
紫外線がとても強いので、日焼け止めを塗ることは必須です。 飲料代がとても高いのでマイボトルを持参することによって、コストを抑えました。

研修を通して得たもの
不安なことでも勇気を振り絞って行動してみることによって、楽しい経験や学びを得ることが分かりました。

今後の学習計画について
英語の勉強を毎日コツコツ勉強していき、TOEIC のスコアを 700 点を超えられるように頑張っていきたいと思います。

研修参加を検討している学生へメッセージ
とても楽しかったので、ぜひ参加してみてください。